

平成30年度施政方針について

松野久郎



〔質問〕平成29年度の出前講座の実施状況と成果について伺う。

〔答弁〕〔市長〕出前講座を10回開催し、参加総数は238人となっております。家庭の教育力向上を図ることができた。

〔質問〕平成30年度の学校ICT推進について伺う。

〔答弁〕〔教育長〕平成32年度からプログラミング学習が小学校で必修化されることを踏まえ、積極的に取り入れていきたい。

〔質問〕白石和紙の後世へ引き継ぐための方策について伺う。

〔答弁〕〔市長〕将来、和紙後継者となる人材が現れることを期待

し、市民団体の蔵富くらふと人との共同で活動を情報発信しながら、事業後継候補者の発掘につながるよう努力していく。

〔質問〕国民健康保険事業は、本年4月から財政運営主体が都道府県となるが、スケールメリットをどのよう

に生かすのか伺う。
〔答弁〕〔市長〕市町村の保険財政の安定化と事務的経費のコスト削減、地域医療の充実や医療費の適正化を図ることができ

る。
〔質問〕まちづくり交付金について、年度途中でも申請ができるよう要望していたが、所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕平成30年度から要綱を改正し、年1回から2回に改め、これまでの2月

募集の他、2次募集を7月までとした。

〔質問〕交流人口の拡大を目指し、マーケティングの市場調査を実施し、ニーズに沿った事業展開が必要と考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕各集客イベントのアンケートや聞き取りによる意向調査を実施しており、集積データをもとににぎわい創出、交流人口の拡大に向け、有利な財源を積極的に確保していく。

〔質問〕6次産業チャレンジ法人支援事業の具体的な事業内容について伺う。

〔答弁〕〔市長〕一般社団法人みのりを担い手に、白石市原産を基本とした肉類・野菜類の加工、施設の調理実習室による料理教室や加工する一般の方への貸し出しを計画している。

その他の質問

◎小中学校統廃合の準備状況について

意見交換会を開催しました！

3月20日(火)、22日(木)、23日(金)の3日間で、市内各公民館9カ所を会場に開催しました。今回は、『見つけよう!高めよう!「わが地域の魅力」』をテーマとしたワークショップも実施し、市民の皆さまから、たくさんのご意見をいただきました。

詳しい内容は、市のホームページや議会だよりなどでお知らせしていきます。

※意見交換会の各会場での参加者は、下記のとおりでした。

・中央公民館 22人	・越河公民館 22人	・斎川公民館 16人
・大平公民館 19人	・大鷹沢公民館 28人	・白川公民館 16人
・福岡公民館 11人	・深谷公民館 13人	・小原公民館 46人
合計 193人		



意見交換会の様子 (左：白川公民館 右：深谷公民館)